令和６年　11月　20日

(宛先)上越市議会議長

令和　年度　行政視察報告書

会派・代表者名又は議員名

櫻庭節子

1　視 察 日

令和　６年　５月　21日（火）～　５月　21日（火）

2　参 加 者

櫻庭節子、石田裕一

3　視 察 先

・名　　称：輪島市役所・介護老人保健施設「百寿庵」
・住　　所：輪島市二ツ屋町２字29番・輪島市気勝平町１番２８
・人　　口：21,143人
・面　　積：426.4km²

4　視察の目的

・今年１月１日に発生した能登半島地震からの復興現状を視察
・発災後より輪島市で定期的に炊き出し支援を行う上越市内企業の活動を視察

5　テーマ等

・人口減少地域における災害復興の課題を見る

6　現 状 等

令和６年１月１日16時10分に、能登半島地下16 km、鳳珠郡穴水町の北東42 kmの珠洲市内で最大震度７の地震が発生し、災害関連死を含めた死者は426人に上る。視察時で５か月以上が経過しているが、復旧が遅れていると報道されている。

7　視察概要

・輪島市（防災課による）災害復旧の現状説明の後、朝市火災現場を現地視察。
火災現場は手つかずの状況で、政府による支援の遅れが目立つ。防災課長によると住宅地における電気・ガス・水道等のインフラはほぼ改修され、2 週間前に最後の仮設住宅に市民が入居を終えた。インフラ整備に対する国の支援が遅れている。屋根瓦の修復も遅れていて、青いビニールシートを張った屋根だらけである。
・慰問した高齢者施設においても家族を含む訪問者が激減している現状で、ボランティアも不足している中、入居者が孤立しないように努力している。
・上越市中郷区の「食堂ニューミサ」が発災当初より定期的に訪問している輪島市役所前にて炊き出しを行う。(現場の調整は NPO 法人「ピースボート」) 現地に 10:30 に到着して豚汁と炊き込みご飯を 500 食分炊く。配布のアナウンスと同時に近隣地域から鍋をもって被災者が来られた。約 1 時間で全 500 食と合わせて配布したレトルト食品等も終了。現地の皆さんと顔見知りになっていて非常に感謝されていた。

8 当市導入の可能性の考察
・大きな災害に見舞われた時には政府によるインフラ復興のための補正予算を組んでもらう必要性がある。今回予備費での対応だったためか復旧は非常に遅れている。議員団と首長が共同で国会議員を動かすように働く必要があるのではないか。災害対策特別委員会や代表者会議に提案して、万が一に備えた議員団による要望活動の手順を決めておくべきだと考える
・平時における地籍調査の必要性を強く感じる。それによって災害時には敏速な整備事業が展開できると考える。

OPPO Reno5 A

OPPO Reno5 A

駐車禁止
OPPO Reno5 A

OPPO Reno5 A